

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域からボランティアや慰問を施設で待っている事が多く出向く事が少ない。	地域との結びつきを増やす取り組みを行っていく。	○外部評価結果をもとに、会議の中で当事業所の行事を通じて利用者の外出機会を増やして行く事とする。まずは、特養や保育園の行事に参加し交流を深めて行く事から始めていく。	2ヶ月
2		夜間の避難訓練を日中に行っているが、実際に夜の訓練も必要である。	災害対策の強化	○地域からの協力(利用者の見守り等)を一人でも二人でも依頼していく。	6ヶ月
3		運営推進委員は、民生委員・地区長・家族・包括支援センターのメンバーで構成しているが、専門機関(消防署、警察署等)の参加はない。	施設運営会議をもっと充実したものにする。	○定例ではなくともオブザーバーの参加で、消防署や警察などの専門機関の意見を聞き、事業所の状況について理解していただき良い情報交換の機会とする。	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。